

令和5年度
学校だより
3月号

かごまち



令和6年3月1日
文京区立駕籠町小学校
校長 矢部 明美

学んだことの証

校長 矢部 明美

「学んだことの証は、ただ一つで、何かがかわることである。」これは、教育哲学者の林竹二の言葉です。この言葉の前後の文章は、次のようなものです。「学ぶということは、覚えこむこととは全く違うものだ。学ぶとはいつでも何かが始まることで、終わることのない過程に一步踏み込むことである。」

2学期の、とある授業の際、6年生がつぶやいた言葉がよみがえります。

「自分の考えはもっているけど、友達と話すと、新しい見方が見つかる。それで答えが見つかったと思うと、また新しい謎が出てくるなあ...。」と。

「新しい謎」が出てくるたびにまずは自分で考え、友達と話し合い、先生からのアドバイスを必要に応じて求めつつ、解決に向かう...。自ら問いをもち、他者と協働しながら学ぶことを積み重ねている本校の子どもたちの、具体的な学びの姿であると言えます。学校での学びにおいて、知識を獲得していくことはとても大切です。しかしたくさんの知識を得ることそのものが目標ではなく、それらの知識を使って、自らの見方、考え方を働かせ、物事や自分自身についてより深く考え、学び続けることが大切であると考えます。

授業の中で、「あれ？こう思っていたけど、こっちの方がいいな」「友達が教えてくれたこの方法を使ってやってみたけど、自分にはこのやり方の方が合っているな」等々。どれも日常的によく見られる、しかしどれもかけがえのない「学びの証」です。

こうした学びの姿を多くの方々に見ていただき、応援していただけるよう、教職員一同、引き続き努力してまいります。来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年度も、ご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

3月の行事予定			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金	4時間授業（1年）5時間授業（2-6年） クラブ※6校時に行う 安全指導 和食の日	17	日	
2	土		18	月	4時間授業（1年）
3	日		19	火	
4	月	全校朝会 B時程 保護者会（123年13:30→全体→456年14:30-） 4時間授業（1-3年）5時間授業（4-6年）	20	水	春分の日
5	火	避難訓練 4時間授業（1-4年）5時間授業（5・6年）B時程	21	木	給食終 4時間授業（1-4年）卒業式予行（5・6年）
6	水	かごめ班遊び 4時間授業	22	金	修了式 土曜時程4時間授業
7	木	学びの教室終 読み聞かせ（6年）	23	土	
8	金	4時間授業	24	日	
9	土		25	月	卒業式（6年のみ）
10	日		26	火	春季休業日始
11	月	全校朝会	27	水	
12	火		28	木	
13	水		29	金	
14	木	B時程 学校保健委員会	30	土	
15	金	委員会 4時間授業（1年）	31	日	
16	土				※新年度の始業式・入学式は4月8日（月）です。

卒業に向けて

6年担任

先日「6年生を送る会」がありました。どの学年も心のこもった発表で、会場は温かい雰囲気になりました。また、引継式では、凛とした厳かな空気となり、駕籠町小の伝統と最高学年としての思いを5年生に伝えていました。そして、6年生から下級生へ感謝の気持ちを込めて「剣の舞」の合奏をしました。限られた時間の中で、放課後練習なども行い、一人一人が感謝の思いをもって演奏しました。改めて、「もうすぐ駕籠町小を卒業するんだ」と実感していました。

今年一年を通して、何事にも真剣に取り組んできた6年生。日々の学校生活の中で少しずつ成長し、最高学年としての在り方を考え、行動しようと努力していました。仲間と協力することの大切さ、下級生への心遣い、最後までやり遂げる力など、数えきれないほど多くのことを学んでいました。そして、卒業まであと3週間程の小学校生活の中で、最後に、「感謝の心」を表現することを学びます。お世話になった先生方、主事さん方、下級生に感謝の気持ちを込めて、校舎内の清掃を行ったり、鼓笛隊の演奏の仕方を教えたりします。もちろん、学校だけでなく、地域や保護者の方々、これまで携わってくださった多くの皆様に感謝の気持ちを常にもち、残りの学校生活を送っていきます。卒業する最後の日まで、子どもたち一人一人が力を伸ばしていけるよう、支援していきます。



◆1年生◆ 1年担任

入学式から6年生と多く関わってきた1年生。関わっていく中で6年生のすごかったところを伝え、さらに1年生の頃を思い出してもらうために「思い出のアルバム」の替え歌を発表しました。6年生を送る会の入場前に、折り紙でメダルを作り、メッセージを込めて贈りました。

◆2年生◆ 2年担任

6年生が2年生で取り組んだことを、感謝の気持ちを伝える工夫を替え歌の歌詞や言葉に込め、感謝や尊敬の気持ちを伝えました。

プレゼントのキーホルダーメッセージをみんなと考えながら、改めて6年生が駕籠町小の生活にたくさん関わっていることを実感し、「自分もこうありたい。」と目標を立てていました。

◆3年生◆ 3年担任

3年生は駕籠町旅行社の社員として、日々感じている6年生への感謝の気持ちと憧れの思いを伝えました。他学年にも6年生のすごさが伝わるように、漢字対決や二重跳び対決を行いました。6年生を送る会を通して、自分たちも今の6年生のような「尊敬される最高学年」を目指すことを、今後の目標にすることができました。

6年生を送る会 各学年の取り組み

◆4年生◆ 4年担任

ジェスチャークイズやお祝いの言葉、ダンス等で6年生へ感謝の思いを伝えました。出し物の準備や、6年生を迎える花のアーチとプレゼントの写真立てを作る中で、学校の代表として動く高学年の役割について考え、自分たちも6年生のように学校を支えたいという思いをもっていました。

◆5年生◆ 5年担任

5年生は、引継式を行いました。校旗当番やかごめ班活動等、これまで6年生が行ってきた取り組みはもちろんですが、最高学年としての思いや伝統を引き継ぐ重みを意識し、覚悟をもって引継ぎ式に臨みました。これまで、最高学年の役割を務め上げた6年生のすごさを、改めて実感していました。